

FDL 2013

特定非営利活動法人

FUKUOKA デザインリーグ

2013 活動報告

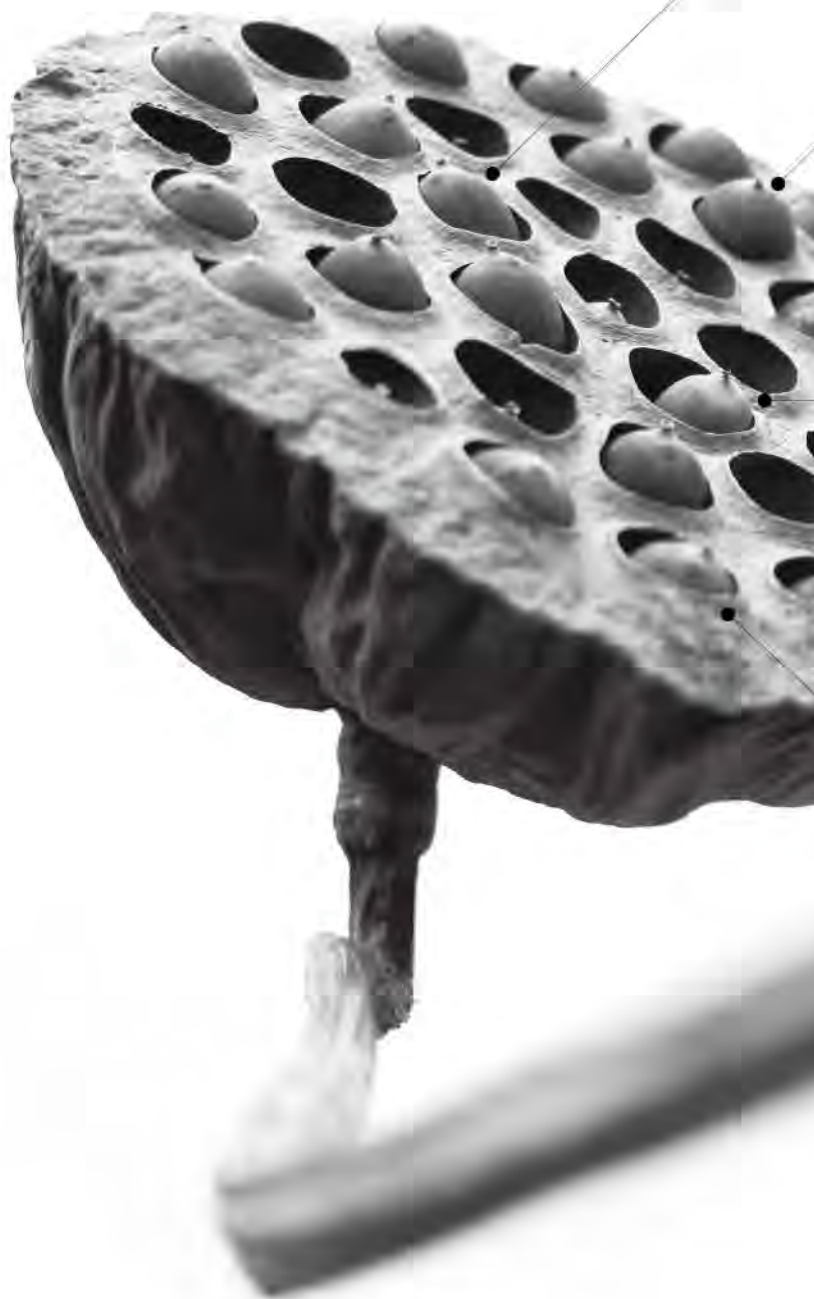


FDL 2013

NPO FUKUOKA
DESIGN LEAGUE
ACTIVITIES REPORT

NPO FUKUOKAデザインリーグ とは

FUKUOKAデザインリーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興」を主な目的としてさまざまな活動を続けてきましたが、「デザインを経済のためだけではなく、社会の成熟のために活用する」という大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。世界はいま環境問題や高齢化問題など、さまざまな課題を抱えています。デザインは、いまこそその力を企業や経済のためだけではなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKAデザインリーグでは、ひとりのデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会（デザイン都市）」の実現を目指します。



C O N T E N T S

自主事業

PUBLIC PROJECT

【パブリックプロジェクト】

- 01 ユニバーサルキャンプ in 九州 2013..... P03
- 02 デザインカフェ P04
- 03 福岡景観ガイドツアー P05
(福岡市都市景観室 共働事業)
- 04 タウンモビリティマップ調査 P06

EDUCATION PROJECT

【教育プロジェクト】

- 05 デザインスクールキャラバン 2013 P07
 - 小学校出前授業「デザインスクールキャラバン2013」
 - 出張授業「デザインスクールキャラバン2013 in 防府」
 - みらいのまちづくりワークショップ
 - スクールキャラバン立花高等学校
- 06 デザインインターンシップ 2013..... P08

受託事業

SUPPORT PROJECT

【サポートプロジェクト】

- 07 福岡一釜山デザイン商談会 in 福岡 P09
福岡一釜山デザイン商談会 in 釜山
- 08 平成25年度 景観意識高揚事業 P11
- 09 伝統工芸モデル事業「ふくおか匠塾」 P11
- 10 「こどもドリームラボ」運営及び映像作品制作業務 P12
- 11 交通アクセス強化に係る案内デザイン検討業務 P12
- 12 イメージアップアドバイザー事業 P13
- 13 第13回ジャパン・エキスポ P13
- 14 福岡市ユニバーサル都市・福岡
デザインチャレンジ 2013 P14
- 15 福岡こども病院宿泊施設「ふくおかハウス」
募金活動支援 P15
- 16 県外用ふるさと応援寄付のちらしデザイン P16

交流事業

EXCHANGE PROJECT

- 17 九州デザインサミット 2013 P16
- 18 第16回 FUKUOKA デザイン界合同大望年会 P16

1泊2日で見つける、たくさんの出会いと気づき。

ユニバーサルキャンプin九州 2013

日時：平成25年 11月2日～3日

会場：国営海の中道海浜公園デイキャンプ場

2008年より開催しているユニバーサルキャンプin九州。老若男女、障がいの有無、国籍や文化の違いにかかわらず、ダイバーシティ(Diversity=多様性)の視点に立ち、「みんなが一緒にいきいきと暮らせる社会」の実現を目指す交流イベントです。

6回目となる今年のキャンプは、1泊2日の間、晴天に恵まれ、ものづくりやスポーツ、さらに食事の準備など多くのイベントをみんなで行いました。キャンプで出会う様々な人々と語り、寝食を共にすることで、誰もがそれぞれに出来ること、出来ないことがあることに気づき、自然とお互いの特性を理解できる良い機会となりました。

■担当者感想

今回のキャンプでは、ダイバーシティのイベントとして「ベタンク」を行いました。日本ではあまり馴染みのないスポーツですが、子供も大人も一緒に楽しめるシンプルな競技で、みんな真剣に戦っていました。

二日目があいにくの雨となりましたが、テントを繋げてスペースをつくり、みんなで集まってイベントを進行することで、より一層参加者同士の距離が近くなった感覚が生まれました。雨天というマイナス条件も、知恵を出し合い、工夫して助けあって対処することで、良い結果へ導くことができるという素晴らしい体験となりました。

[山田 貴史]



「コーヒーと好奇心」

デザインカフェ

日時：平成25年 9月4日、10月1日、平成26年 2月14日

会場：九州大学大橋サテライト（ルネット）1F

講師：平成25年 9月4日：佐藤 浩氏（福岡市道路下水道局）、佐藤 俊郎／森重 正治（FDL）

10月1日：倉岡 豊氏、丸田 隆弘氏（JAICA）

平成26年 2月14日：武田 芳明氏、梶山 千鶴子氏

25年度のデザインカフェは3回実施。1回目は、FDLの事業である工事現場の景観の向上を図るイメージアップ事業の報告を「現場も街を美しくする：イメージアップ事業」と題して実施。2回目は「飛び出せ、海外へ!」～シニアデザイナーの新たな国際貢献～と題して技術者による国際貢献の事例報告とシニアボランティアの紹介。3回目は、FUDAとの共催による～FUKUOKAデザインの先駆け「ニック」を語る by FUDA～を行いました。3回の開催で延べ60人近い参加者に来て頂きました。

■担当者感想

平成25年度のデザインカフェは、スタートが遅れましたが、何とか3回開催する事ができました。テーマもアートから国際貢献まで幅広く、多彩なゲストに熱く語って頂きました。お出で頂いたゲストに連絡の労を取って頂いたリーグ関係者、及びFUDAに感謝です。

[照井 善明]



NIC

FDL
2013NPO FUKUOKA
DESIGN
LEAGUE
ACTIVITIES REPORT

福岡の良さを再発見。

福岡景観ガイドツアー（福岡市都市景観室 共働事業）

日時：平成25年 6月2日(土)・9日(土) 10月19日(土)・20日(日) 11月4日(月・祝)

会場：ウォーターフロント(6月)、天神パブリックアート(10月)、オーブントップバスツアー(11月)

本年度は6月、10月、11月の3コースで実施しました。

ウォーターフロントコース

6月2日(土)、9日(土)はポートタワー、ベイサイドプレイス、博多港国際線ターミナルなどを廻り、最後は水上バスにのり、天神中央公園の「福博であい橋」で解散しました。普段あまり行かない場所で面白かったという感想をいただきました。(2日、9日各参加者36名)

パブリックアートコース

10月19日(土)、20日(日)は天神周辺のパブリックアートを見て廻るツアーを実施しました。同時期に開催されていた「まちなかアートギャラリー」とも連携し、巨匠の彫刻からパフォーマンスまで、幅広いアートを案内しました。福岡の中心部にもあまり知られていない優れたアートがあることを再確認しました。(19日参加者42名、20日参加者一般24名 車イス利用者1名)

オーブントップバスツアー

11月4日(月・祝)は景観の日で、そのイベントの一貫としてガイドツアーを実施しました。市役所を出発点に福岡城跡、百道浜、という福岡西部の代表的な景観を紹介した後、都市高速にのり、海辺の景観を楽しみながら、宮崎宮、名島城跡へ、その後アイランドシティへ行き、「ぐりんぐりん」を見学、世界の著名建築家の設計によるネクサス香椎を経由して、九州大学箱崎キャンパスの工学部本館などの文化財級の建築を見学し、市役所へもどるという福岡の代表的な景観をできる限り短時間で案内するというコースでした。(参加者61名)

■担当者感想

ウォーターフロントコースは港町博多の歴史を案内して、再発見もあり、水際からの異なる視点からも楽しめました。オーブントップバスツアーも高い視点から景観の新鮮さを体験し、福岡都市景観の全体像を見ることができて有意義なツアーができました。アートコースは前年度の博多コースに次いで天神コースでしたが、事前のイメージよりも質、量ともに見ごたえのあるアートを案内することができました。

[水野 宏]



福岡のまちのUD。

タウンモビリティマップ調査

日時：平成25年 9月21日(土)

会場：天神～博多

9月21日に、バリアフリー情報を盛り込んだ地図をつくるための調査を行いました。天神、中洲・川端、博多駅周辺の3エリアで、新築、改築など更新された施設のトイレの情報、エレベーター・スロープなどのアクセス情報などを中心に調査をおこないました。今回はTOTOのトイレ空間開発部の方々にも参加いただき、多目的トイレのレイアウトについても細かく調査を行いました。

■担当者感想

回を重ねるたびにまちの意識の変化が見て取れることができます。少しずつですが、ひとに優しいまちに変わっていくようです。でも、まだ意識が低い業態もあるようで、より一層の啓発活動も必要だと思います。

[水野 宏]

FDL
2013NPO FUKUOKA
DESIGN
LEAGUE
ACTIVITIES REPORT

みんながやさしい、みんなにやさしい、
未来のまちを、みんなで創ろう！

小学校出前授業「デザインスクールキャラバン2013」

日時：平成25年 11月25日（月）8：40～16：00 会場：福岡市立南当仁小学校 5年生

講師人員：33名

◎DSA：4名（大久保、木屋、山崎、平田） ◎JAGDA：9名（江副、垣田、計盛、武永、宮崎、村上、森重、山本、吉松）

◎JCD：7名（荒井、山村、金子、石塚、原田（啓）、原田（雄）、深町） ◎JIA：5名（水野、照井、川上、智原、相良）

◎SDA：8名（中牟田、原、梅本、山田、今宮、兒島、松隈、定村）



育成事業のひとつデザインスクールキャラバンは、子どもたちの創造的価値の育成を目的に毎年開催しています。今年のテーマは、「人・海・緑・アジアと共に広がる、わたしたちの未来のまち」。福岡市の人口は150万人を超え、新たなマスタープランが策定されました。その基本構想のテーマをそのままに、子どもたちが未来の姿を創造しました。

モデル地区は、南当仁小学校の校区内にあるシーサイドももちとし、低層・高層住宅と学校、企業が建ち並ぶ「ウォーターフロント生活ゾーン」（JIA担当）、ホテルと海に面した「シーサイドリゾートゾーン」（DSA担当）、大中の商業施設が賑やかな「リバーサイドショッピングゾーン」（JCD担当）、ヤフ



オクドームを中心とした「ウォーターフロントエンターテインメントゾーン」（JAGDA担当）、そして中国・韓国領事館、病院、公園の「インターナショナルコミュニティゾーン」（SDA担当）の5つのゾーンを、クラス混合のキッズデザイナー105名がデザインしました。海や川を有するそれぞれのゾーンでは、ゾーンの特性に応じた水との親しみ方が工夫され、通学・通勤、また病院で入院している人たちが川辺で散歩ができる遊歩道、さまざまなアトラクションで楽しめるビーチなどがデザインされました。また、中国・韓国のふたつの領事館の壁は外され、間には、日本と両国の国旗が掲げられており、3国が仲良く集えるコミュニティ広場ができました。ドーム周りには福岡の食文化を伝える出店やリバーサイドの素

敵なレストランやショッピングセンターなど、市民や観光客が楽しめる施設も充実しています。

授業開始は8時40分で、全体説明の後、チームに分かれて構想、デザイン、そして模型を製作、15時には作業終了です。片付けの後、いよいよ待ちに待った模型合体です。ゾーンごとに模型が運び込まれ、海や川を活用した、緑あふれるまち、そして、みんなが集う未来のまちが完成しました。



■担当者感想

南当仁小学校での学年全員でつくる授業は、今年で5回目です。5年生の生徒たちは入学した時から毎年約4メートル四方の巨大模型を目にしており、5年生になったら自分たちもつくれると楽しみにしていたそうです。そのせいか、彼らの構想もしっかりとしており、思い思いに担当の部分をつくり、さらに全体と調和させることも配慮しています。特に市を代表する地域の未来像は意欲がかき立てられるようで、新タワーや新たな人工島も出現、水と緑の自然豊かな未来のまちができました。きっと彼らが将来実現することでしょう。

[中牟田 麻弥]



FDL
2013

NPO FUKUOKA
DESIGN
LEAGUE
ACTIVITIES REPORT

出張授業「デザインスクールキャラバン2013 in 防府」

日時：平成25年 8月10日（土）9:00～17:00

会場：山口県防府市「ピア天神」 防府市内中学生60名

主催：防府デザインスクールキャラバン実行委員会 協賛：防府市商工会議所

講師人員：11名

◎JAGDA:3名(江副、武永、森重) ◎JCD:2名(金子、石塚) ◎JIA:2名(水野、照井)

◎SDA:4名(中牟田、原、今宮、定村) ◎講師補助人員:20名 山口大学 大学生



みらいのまちづくりワークショップ

日時：平成25年 12月8日(日)10:00～16:00

会場：JR博多シティホール 主催：JR博多シティ

講師人員:15名

◎JAGDA:3名(江副、武永、森重、宮城) ◎JIA:1名(水野)

◎SDA:7名(中牟田、今宮、兒島、梅本、平田、原、山田)

◎FICA:中国 個人会員:照井、梅元 ◎講師補助人員:15名



スクールキャラバン立花高等学校

日時：平成25年 10月～平成26年 2月

平成25年 ◎10月25日(金) サインデザインを学ぶ

◎11月8日(金) シンボルマークデザインを学ぶ

◎11月22日(金) グラフィックデザインを学ぶ

平成26年 ◎1月18日(金) インテリアデザインを学ぶ

◎1月31日(金) 建築を学ぶ

◎1月24日(金) プロダクトデザインを学ぶ

◎2月14日(金) コミュニケーションデザインを学ぶ

実習「学校のピクトグラムをつくろう」

実習「自分のシンボルマークをつくってみよう」

実習「自分のTシャツをデザインしよう」

実習「照明器具」

実習「まちづくり」

実習「段ボールでイスをつくろう」

実習「自分の想いを大切な人に伝えよう」

講師：山田 貴史 SDA

講師：森重 正治 JAGDA

講師：中牟田 麻弥 SDA

講師：兒島 正明 SDA

講師：水野 宏 JIA

講師：梅本 幸治 SDA

講師：武永 茂久 JAGDA

JAGDA/公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、JIA/公益社団法人日本建築家協会、SDA/公益社団法人日本サインデザイン協会



自主事業

EDUCATION PROJECT

【教育プロジェクト】

現場に飛び込もう！学生たちの夏の挑戦。

デザインインターンシップ2013

日時：平成25年 インターンシップ期間：8月～9月

2003年度より、デザイナーを志す大学・専門学校の学生を対象に、デザインの現場を体験するための「デザインインターンシップ」を行っています。

参加企業：8社 参加学生数：13名

■参加者感想

実習レポートより一部抜粋(受入先/在校名)

●会場をつくる立場から改めて見ることで、いかにその場をつくり上げることが大変で、時間を費やすことなのかを知りました。街にあるもの全てに様々な人が関わって手が加えられているという視点を持つことが

できるきっかけとなり感謝しています。
(株式会社ツカサ創研/山口大学1年生)

●関係各所と連絡を取るスピードを感じ、期間に間に合わせる様々な苦勞を認識できました。仕事を進めて行くにあたり、一つ一つの仕事のクオリティが次の仕事につながっていくという話しは特に小規模事業者にとって重要なことだと思いました。
(有限会社ファーストデザイン/九州大学3年生)

●個別にアドバイスをを受けたり、会議や打合せの見学・参加をするという学内では出来ない体験は特に貴重でした。
(株式会社ダイスプロジェクト/九州大学3年生)

●どのような工程を経てエンドユーザーに届くのか、学校で学んできたことが実感でき、また想像以上に多大なエネルギーを必要とする仕事だと改めて実感しました。今回の経験で、将来の自分のなりたいデザイナー像や仕事内容など、何倍も具体的になったので、理想に近づけるよう努力していこうと思っています。
(株式会社ジーエータップ/麻生建築&デザイン専門学校2年生)

【岡 真由子】

「交流」から具体的な事例の模索へ。

福岡ー釜山デザイン商談会 in 福岡

日時：平成25年 11月28日(木)～11月30日(土)

会場：◎企業訪問：市内各所

◎展示・商談会：天神イムズB1F「イムズプラザ」にて商品展示 同、8F会議室にて商談会

◎歓迎レセプション：玄海地魚&地鶏貝焼マルシェ「天の雫」

事業実施主体：NPO法人FUKUOKAデザインリーグ

釜山市よりデザイン企業を迎えて福岡市での優良商品の展示・商談会の開催及び、企業訪問、福岡市主催による歓迎レセプションを行いました。企業訪問を行なった株式会社ゼネラルアサヒでは、印刷工場の最新の設備や行程を見学。続く株式会社久原本家においては、だしやスープ、めんたいこの製造行程の見学を行い、デザイン企業からは、様々な質問が熱心に発せられていました。最後に株式会社ジーエータップを訪れ、環境・空間デザインからグラフィックデザインまでの事例紹介を受けました。展示・商談会は、天神イムズB1F「イムズプラザ」にて商品展示と8F会議室にて商談会が開催され、短い時間にもかかわらず2～3件の商談が具体的に進められました。

■担当者感想

開催日時が二転三転しましたが、様々な要望とFDLとしての取組みの狭間で、立ち位置としての調整がとても困難でしたが、今後のFDLの受託事業と自主事業とのバランスを考える良いきっかけとなりました。

[垣田 健一郎]



●参加企業等

アイオン・デザイン

イナス

リ・デザイン

シソン・デザイン

アイキューブ

デザイン釜山

マコ・デザイン

アートハンズ

ボアス・コミュニケーション

ヘイブル

ヘアリム

11社17名

釜山市役所

釜山経済振興院

釜山デザインセンター

東南圏デザイン協会

6名

FDL
2013NPO FUKUOKA
DESIGN
LEAGUE
ACTIVITIES REPORT

福岡と釜山との共同プロジェクトへの第一歩。

福岡－釜山デザイン商談会in釜山

日時：平成26年 3月24日(月)～3月25日(火)

会場：◎セミナー：釜山デザインセンター

◎視察：海雲台周辺・海雲台 we've the zenith (80階) (最先端の防災システム住居施設)

釜山市民公園 (公開前を特別視察)・釜山甘川文化村

事業実施主体：NPO法人FUKUOKAデザインリーグ

釜山市海雲台周辺での防災への取組みの視察の後、釜山デザインセンターで福岡・釜山の5名のスピーカーによるセミナーを行いました。最初はリノベーションビジネスについて、次に犯罪、事故、災害時のユニバーサルデザインで様々な問題を解決していくという、事例を交えたセミナーが行われ、SEDIAデザイン企業や慶星大学学生から多くの質問がありました。その後の懇親会では、今後の日韓の共同プロジェクトの足掛りとなる事例が話し合われました。翌日は釜山市民公園 (公開前を特別視察)と地域活性・活用の事例として釜山甘川文化村の視察を行いました。



■担当者感想

釜山市との交流事業も4年目を迎え、当初の交流という形から、お互いの文化・商習慣などが少しずつ理解され共同プロジェクトを組むという目標が見えてきたような気がしました。特に懇親会においては様々な提案の話が各所で行われ、来年度からのスタートを模索しなければ、との思いが深まりました。

[垣田 健一郎]



●参加企業等

【福岡側参加者】

垣田 健一郎 垣田健一郎デザイン事務所
加瀬 仁人 株式会社TOTO
計盛 政利 トライプスデザイン
佐藤 俊郎 環境デザイン機構
張 彦芳 株式会社ジーエータップ
荻原 武治 RENO DESIGN WORKS
原田 有希 curum
松山 真介 アポロ計画
森重 正治 アドボックス

【釜山側参加者】

釜山市役所
釜山デザインセンター
釜山経済振興院
SEDIA デザイン企業
慶星大学学生



FDL 2013



NPO FUKUOKA
DESIGN LEAGUE
ACTIVITIES REPORT

特定非営利活動法人
FUKUOKA デザインリーグ
2013 活動報告



FUKUOKA
DESIGN LEAGUE